



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月29日

上場会社名 ペガサスミシン製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6262 URL <https://www.pegasus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 美馬 成望
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部副本部長 (氏名) 金子 貴司 (TEL) 06(6451)1351
 四半期報告書提出予定日 2021年11月5日 配当支払開始予定日 2021年11月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,568	83.2	715	—	702	852.3	470	—
2021年3月期第2四半期	5,222	△34.8	△100	—	73	△57.6	△333	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,757百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 △876百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	18.98	—
2021年3月期第2四半期	△13.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	32,437	23,608	70.5
2021年3月期	29,846	22,061	71.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 22,883百万円 2021年3月期 21,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2022年3月期	—	7.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,510	41.0	1,050	103.5	980	43.9	560	△20.8	22.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	24,828,600株	2021年3月期	24,828,600株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	17,976株	2021年3月期	17,976株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	24,810,624株	2021年3月期2Q	24,810,656株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2021年11月12日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。なお、当日使用する決算説明資料につきましては、2021年11月10日(水)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、期間の後半にかけて新型コロナウイルス感染症の感染拡大が鈍化し、中国、米州、欧州等において行動制限の緩和が進み経済活動は徐々にではありますが正常化に向かう一方、東南アジアでの感染再拡大、半導体の供給不足、原材料や運送費の高騰などにより先行き不透明な状況が続きました。

当社企業グループの主力事業である工業用ミシン業界におきましては、設備投資の需要は回復基調を維持しているものの、世界的な物流の混乱により、出荷遅延及び運送費高騰の影響を受けております。

ダイカスト部品事業におきましては、旺盛な自動車需要に対して、半導体などの部品の供給不足による生産遅延に加えて、原材料価格の上昇などもあり、不安定な状況が続いております。

このような環境のもとで、当第2四半期連結累計期間の売上高は95億68百万円（前年同四半期比83.2%増）、営業利益は7億15百万円（前年同四半期は営業損失1億円）、経常利益は7億2百万円（前年同四半期比852.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億70百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億33百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（工業用ミシン）

工業用ミシンにつきましては、世界的なアパレル需要の回復により、縫製工場の設備投資が活発になってきたことで、売上高は76億88百万円（前年同四半期比85.7%増）、セグメント利益は11億35百万円（前年同四半期比176.5%増）となりました。

（ダイカスト部品）

ダイカスト部品につきましては、従前より取り組んでまいりました販路拡大に向けた販売活動の強化により、売上高は18億80百万円（前年同四半期比73.9%増）、セグメント利益は1億13百万円（前年同四半期比314.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18億57百万円増加し、231億15百万円となりました。これは、現金及び預金が10億30百万円、受取手形及び売掛金が10億23百万円、原材料及び貯蔵品が1億62百万円それぞれ増加し、商品及び製品が4億47百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7億33百万円増加し、93億21百万円となりました。これは、有形固定資産が6億39百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて25億90百万円増加し、324億37百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9億40百万円増加し、54億57百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4億93百万円、短期借入金が3億23百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億3百万円増加し、33億71百万円となりました。これは、その他が2億54百万円増加し、長期借入金が1億49百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて10億44百万円増加し、88億28百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて15億46百万円増加し、236億8百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が12億3百万円、利益剰余金が2億97百万円それぞれ増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて12億64百万円増加し、95億38百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 6 億91百万円、棚卸資産の減少 6 億75百万円、減価償却費 4 億 1 百万円、仕入債務の増加 3 億41百万円に対し、売上債権の増加 7 億50百万円、法人税等の支払額 1 億17百万円などにより、12億67百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 3 億97百万円、定期預金の預入による支出 1 億47百万円に対し、定期預金の払戻による収入 4 億円などにより、1 億27百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出 2 億51百万円、配当金の支払額 1 億73百万円に対し、短期借入金の純増加額 3 億円などにより、1 億84百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,659,115	9,689,210
受取手形及び売掛金	3,619,713	4,643,536
商品及び製品	4,442,859	3,995,039
仕掛品	738,116	802,139
原材料及び貯蔵品	3,453,410	3,615,824
その他	357,668	408,257
貸倒引当金	△13,082	△38,424
流動資産合計	21,257,801	23,115,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,675,393	4,982,394
その他(純額)	2,943,484	3,275,645
有形固定資産合計	7,618,878	8,258,039
無形固定資産		
	505,654	524,876
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	149,517	156,376
その他	314,235	382,125
投資その他の資産合計	463,753	538,502
固定資産合計	8,588,285	9,321,419
資産合計	29,846,087	32,437,002
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,115,489	1,609,290
短期借入金	2,103,670	2,426,672
未払法人税等	52,829	119,730
賞与引当金	127,129	172,730
その他	1,117,371	1,128,649
流動負債合計	4,516,490	5,457,074
固定負債		
長期借入金	1,888,745	1,739,007
退職給付に係る負債	528,847	528,107
その他	850,061	1,104,219
固定負債合計	3,267,654	3,371,334
負債合計	7,784,144	8,828,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,983,084
利益剰余金	15,703,763	16,001,087
自己株式	△5,365	△5,365
株主資本合計	20,937,036	21,234,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,512	13,567
為替換算調整勘定	367,086	1,570,242
退職給付に係る調整累計額	64,390	64,839
その他の包括利益累計額合計	443,989	1,648,648
非支配株主持分	680,917	725,584
純資産合計	22,061,942	23,608,593
負債純資産合計	29,846,087	32,437,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	5,222,346	9,568,827
売上原価	3,375,855	6,594,174
売上総利益	1,846,490	2,974,653
販売費及び一般管理費	1,946,861	2,258,958
営業利益又は営業損失(△)	△100,371	715,694
営業外収益		
受取利息	5,174	6,005
受取配当金	1,574	1,267
為替差益	46,788	—
助成金収入	150,788	39,634
その他	7,457	12,019
営業外収益合計	211,783	58,926
営業外費用		
支払利息	34,699	37,130
為替差損	—	33,120
その他	2,988	2,273
営業外費用合計	37,687	72,524
経常利益	73,725	702,095
特別利益		
固定資産売却益	—	6,790
投資有価証券償還益	22,090	—
特別利益合計	22,090	6,790
特別損失		
固定資産売却損	303,178	—
減損損失	—	17,757
特別損失合計	303,178	17,757
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△207,362	691,128
法人税、住民税及び事業税	42,347	184,889
法人税等調整額	70,240	5,128
法人税等合計	112,588	190,017
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△319,951	501,111
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,640	30,112
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△333,591	470,998

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△319,951	501,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,746	1,054
為替換算調整勘定	△553,039	1,254,818
退職給付に係る調整額	9,181	449
その他の包括利益合計	△556,604	1,256,322
四半期包括利益	△876,555	1,757,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△873,984	1,675,658
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,571	81,775

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△207,362	691,128
減価償却費	371,803	401,286
減損損失	—	17,757
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,486	24,132
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,446	△3,171
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△6,858
受取利息及び受取配当金	△6,749	△7,272
助成金収入	△150,788	△39,634
支払利息	34,699	37,130
為替差損益(△は益)	△67,283	48,565
固定資産売却損益(△は益)	303,178	△6,790
投資有価証券償還損益(△は益)	△22,090	—
売上債権の増減額(△は増加)	679,492	△750,987
棚卸資産の増減額(△は増加)	△361,972	675,538
仕入債務の増減額(△は減少)	△501,859	341,435
未払金の増減額(△は減少)	△203,871	△30,238
その他	33,383	△11,781
小計	△118,460	1,380,241
利息及び配当金の受取額	6,376	7,947
利息の支払額	△35,748	△36,268
助成金の受取額	79,152	33,102
保険金の受取額	47,747	—
法人税等の支払額	△6,532	△117,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,465	1,267,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△356,318	△147,766
定期預金の払戻による収入	259,466	400,371
有形固定資産の取得による支出	△202,715	△397,517
有形固定資産の売却による収入	550,031	15,097
無形固定資産の取得による支出	△5,068	△516
投資有価証券の償還による収入	42,965	—
その他	6,078	2,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	294,439	△127,858

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	300,000
長期借入れによる収入	440,000	60,000
長期借入金の返済による支出	△230,818	△251,018
配当金の支払額	△173,674	△173,674
非支配株主への配当金の支払額	—	△37,107
リース債務の返済による支出	△48,479	△49,279
その他	△2,907	△33,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,879	△184,921
現金及び現金同等物に係る換算差額	△86,479	310,046
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	114,615	1,264,681
現金及び現金同等物の期首残高	5,648,359	8,273,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,762,974	9,538,593

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

なお、収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品等の国内販売において、出荷時から当該製品等の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、これにより四半期連結財務諸表に与える影響はありません。